

KEIKYU BUSINESS REPORT

第94期 2014年4月1日～2015年3月31日

京浜急行電鉄株式会社 証券コード 9006

目次

トップメッセージ	2
連結決算ハイライト	3
京急グループが目指す将来像	5
株主プレミアムイベント	10
会社の概要	11



トップメッセージ



京浜急行電鉄株式会社
取締役社長

原田 一之

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
第94期（2014年4月1日から2015年3月31日まで）の事業の概況をまとめ、「KEIKYU BUSINESS REPORT」としてお届けします。

当期のわが国経済は、経済対策、金融政策の効果などにより、緩やかな回復基調が続いたものの、消費税率引き上げに伴う影響が長引き、個人消費に弱さがみられるなど、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような事業環境のなか、当社グループは、重要な戦略拠点である品川、羽田空港を中心に各事業を推進するとともに、経営の効率化を図り、経営基盤の強化に努めました。また、ライフラインを担う企業集団として、引き続きすべての事業において安全の徹底を図り、安心、良質なサービスの提供に努めました。

以上の結果、当期の営業収益は3,177億1千万円（前期比1.2%増）、営業利益は267億8千3百万円（前期比4.7%増）、経常利益は220億5百万円（前期比8.3%増）、当期純利益は107億7千5百万円（前期比16.4%増）となりました。

なお、当期の期末配当金につきましては、1株につき3円とすることが決定し、中間配当金とあわせて年間配当金は、前期に引き続き1株につき6円となりましたので、ご報告申し上げます。

今後も企業価値を高め、株主の皆様のご期待にお応えしてまいります。株主の皆様には、より一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015年6月

経営成績の概要

営業収益
3,177億円
(前期比 1.2%増)

営業利益
267億円
(前期比 4.7%増)

経常利益
220億円
(前期比 8.3%増)

当期純利益
107億円
(前期比 16.4%増)

セグメント別の概要

<p>交通事業</p>	<p>営業収益 1,178億円 (前期比 0.9%増)</p> <p>営業利益 172億円 (前期比 6.6%増)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●鉄道事業では、羽田空港国際線の発着枠拡大に伴う航空旅客の増加や、ダイヤ改正などにより、羽田空港輸送が増加しました。また、引き続き安全対策を最重要課題とし、高架橋耐震補強工事等を進めました。 ●乗合・貸切自動車事業では、新規路線の運行開始や既存路線の増便などを行ったほか、羽田空港の深夜早朝におけるアクセスバスの実証運行に参画し、鉄道が運行していない時間帯のアクセス向上および利用促進を図りました。
<p>不動産事業</p>	<p>営業収益 496億円 (前期比 69.0%増)</p> <p>営業利益 3億円 (前期比 52.4%減)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●不動産販売業では、引き続き港町駅前の分譲マンション「リヴァリエB棟」のほか、「オーベルグランディオ横浜鶴見」、「ザ・タワー横須賀中央」などを販売しました。 ●不動産賃貸業では、品川駅前の京急第1ビルをはじめとしたオフィスビルが順調に稼働しました。また、京急開発㈱は、羽田空港等に好アクセスな立地を活かした「平和島物流センタ」を開業しました。
<p>レジャー・サービス事業</p>	<p>営業収益 424億円 (前期比 1.9%増)</p> <p>営業利益 45億円 (前期比 14.8%増)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ホテル業では、ホテル グランパシフィック LE DAIBAおよび京急EXインは、国内のビジネス・レジャー需要や増加する訪日旅客を取り込み、好調に稼働しました。 ●レジャー施設業では、京急開発㈱は、「ポートレース平和島」の外向発売所等が順調に推移しました。また、「天然温泉 平和島」で、羽田空港の深夜早朝時間帯の航空旅客の需要にあわせた送迎バスを増便したほか、海外の航空会社と共同でキャンペーンを実施するなど、新規顧客の獲得に努め、好調に推移しました。
<p>流通事業</p>	<p>営業収益 1,010億円 (前期比 16.4%減)</p> <p>営業利益 17億円 (前期比 15.4%減)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●百貨店業では、(株)京急百貨店は、食品売場や紳士服売場等をリニューアルし、産地や質にこだわった商品構成にするなど、顧客の獲得に努めました。 ●ストア業では、(株)京急ストアは、神奈川県と共同で、地産地消の商品を販売するなど、当社線沿線の魅力を伝える商品開発に取り組みました。また、公共料金等の収納代行サービスを導入するなど、利便性の向上を図りました。 ●前期に連結子会社の決算期変更を行った反動や、品川駅高架橋の耐震補強工事に伴い「ウィング高輪 EAST」を全館休業したことにより、減収減益となりました。
<p>その他</p>	<p>営業収益 534億円 (前期比 2.5%増)</p> <p>営業利益 28億円 (前期比 9.5%増)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●京急建設㈱は、鉄道の安全対策工事等を行ったほか、「平和島物流センタ」の建設工事等を行いました。 ●(株)京急ファインテックは、鉄道車両修繕工事の受注を増加させるなど、収益の向上を図りました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当期	前期
営業収益	317,710	314,045
営業利益	26,783	25,589
経常利益	22,005	20,319
当期純利益	10,775	9,257

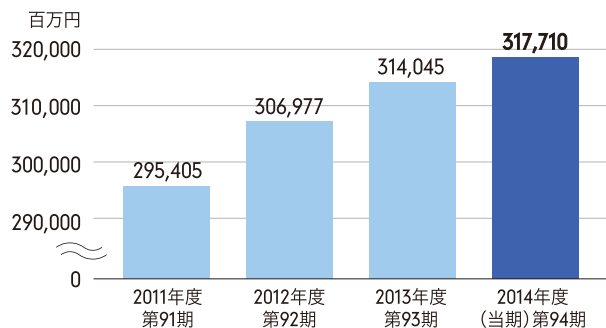
連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

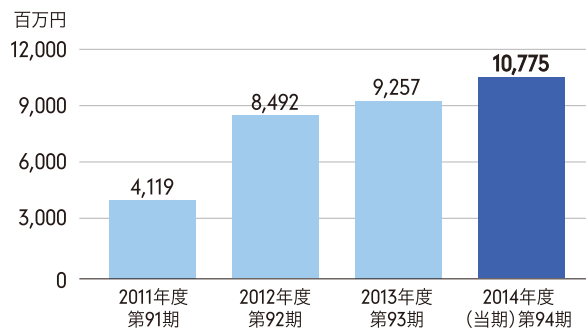
	当期末	前期末
資産合計	1,069,923	1,018,406
負債合計	817,578	810,952
純資産合計	252,344	207,454

業績等の推移

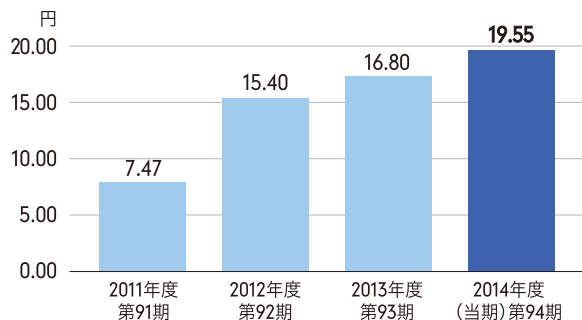
営業収益



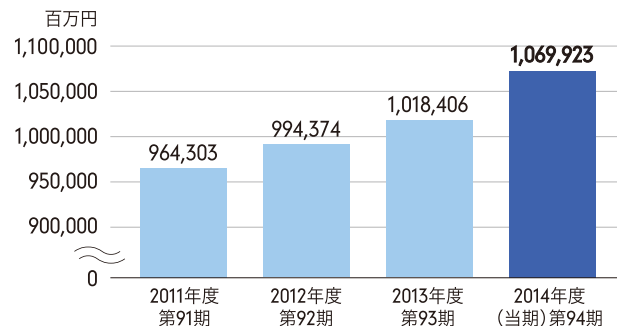
当期純利益



1株当たり当期純利益



総資産



長期ビジョン

「品川・羽田を玄関口として、 国内外の多くの人々が集う、 豊かな沿線を目指す」

京急グループが目指す将来像を長期ビジョンとし、長期ビジョンに基づく取り組み方針を5つの柱としてまとめました。これは、交通の要衝として発展が期待される品川地区、および首都圏における重要性がますます高まる羽田空港を玄関口として、沿線に広く相乗効果を波及させる事業を展開し、豊かな沿線にしていこう、というものです。

長期ビジョンの実現に向けた5つの柱

- 品川駅周辺の開発事業の推進
- 品川・羽田空港の持つ高いポテンシャルの活用
- 安全・安心なサービス・商品の提供
- 豊かで住みやすい沿線づくり
- 新規事業の展開

上記の長期ビジョンの実現に向けた5つの柱のうち、将来像に向けた具体的な取り組みとして、「品川・羽田空港の持つ高いポテンシャルの活用」、「品川駅周辺の開発事業の推進」、「豊かで住みやすい沿線づくり」の3つの柱についてご報告します。





1

品川・羽田空港の 持つ高い ポテンシャルの活用

羽田空港は、航空機の発着枠の一層の拡大等によりビジネスチャンスが増大しています。京急グループは、羽田空港を最重要戦略拠点と位置づけており、今後も、お客様の動向にあわせ、鉄道、バスのダイヤの見直しを随時検討し、羽田空港アクセスのさらなる向上を図っていきます。

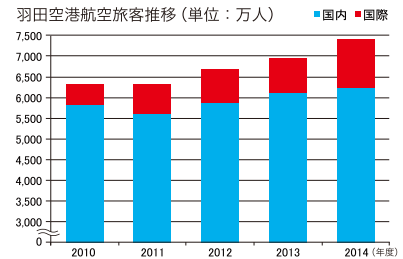
京急グループは、品川、羽田空港の持つ高いポテンシャルを活用した事業展開を推進することで、沿線に根差した各事業に広く相乗効果を波及させ、沿線全域のさらなる価値の向上に努めています。

» 羽田空港国際線ターミナル駅のご利用者数が好調に推移

羽田空港は、2014年3月に国際線の発着枠が年間6万回から3万回増えて9万回になり、2014年度の羽田空港の航空旅客数は、初めて7,000万人の大台を突破しました。この追い風を受けて、2014年度の羽田空港国際線ターミナル駅の乗降人員の状況は、前期比で29.6%増加と、大変好調に推移しました。

また、羽田空港は、2014年12月にC滑走路が延伸されたことにより、大型機による深夜早朝の長距離国際線の就航が可能となり、さらに利用者が増えることが期待されています。

今後も、ますます需要が高まる羽田空港の輸送力の確保および様々なサービスの向上に努め、「羽田空港といえば京急」と言っていただけるよう積極的な事業展開を推進していきます。



» 鉄道・バス・タクシー 三位一体で羽田空港アクセスを強化

鉄道事業では、2014年11月に、羽田空港アクセスを中心としたダイヤ改正を実施し、「エアポート快特」の品川駅から羽田空港国際線ターミナル駅までの所要時間を1分短縮し、11分としました。

バス事業では、羽田空港深夜早朝アクセスバスの路線を5路線から7路線に拡大するとともに、停留所を増やし利便性を向上させました。

タクシー事業では、羽田空港国際線ターミナル駅発着の定額制タクシーのエリアを拡大し、東京・川崎・横浜と三浦半島全域をカバーしました。

京急グループでは、今後も、鉄道・バス・タクシーが三位一体となり、羽田空港アクセスを強化していきます。



»京急グループ インバウンド協議会の開催

2014年の訪日旅客数は前年比29.4%増の1,341万人となり、過去最高であった2013年の1,036万人を大きく上回りました。

京急グループでは、増加する訪日旅客を積極的に沿線に誘致するため、インバウンド協議会を開催し、京急グループの「インバウンド取り組み方針」の共有や海外セールスの状況についての報告等を行っています。

今後も、グループ一丸となり、おもてなしを強化し、訪日旅客の取り込みに努め、収益拡大を図っていきます。



»京急グループが取り組むインバウンド施策

▶台湾鉄道管理局と 友好鉄道協定を締結

2015年2月に、台湾の交通部台湾鉄道管理局と、両者沿線の利用者拡大を目指し「友好鉄道協定」を締結しました。

羽田空港国際線ターミナル駅にある京急ツーリストインフォメーションセンターをご利用いただく訪日旅客の中では台湾人が最も多く、当社は台湾の方にとって身近な鉄道会社になっています。

今後も、海外における京急グループの認知度向上を図っていきます。



▶積極的な海外セールスを展開

ホテル グランパシフィック LE DAIBA では、海外の旅行代理店への積極的な訪問や商談、海外の予約WEBサイトへの積極的な部屋出しにより、海外の予約WEBサイト経由での宿泊利用客が前期比で206%増加と、大変好調に推移しました。

また、同ホテルでは、ホームページや館内サインの多言語対応、外貨両替サービスの実施など訪日旅客へのおもてなしを強化しています。



▶「ミシュラン・グリーンライナー」 により三浦半島の観光地をPR

「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」で紹介されている三浦半島エリアに訪日旅客を取り込むため、2015年5月から羽田空港と東京駅を結ぶ京急リムジンバスに三浦半島の自然をラッピングした、「ミシュラン・グリーンライナー」の運行を開始しました。

今後も、羽田空港からアクセスの良い沿線南部へ訪日旅客を呼び込み、収益拡大を図っていきます。





2

品川駅周辺の 開発事業の 推進

品川地区は、交通結節点として重要性が高まり、これからの日本の成長を牽引する国際交流拠点として新たな街づくりが期待されています。2014年9月に、東京都が策定した「品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン2014」には、当社品川駅の地平化・2面4線化による利便性の向上や品川第一踏切道を含む3か所の踏切解消等による安全性の向上、交通結節点としての利便性を活かした業務・商業・居住等の多様な都市機能の集積による街づくりなどが掲げられています。当社もこれらの早期実現に向け、関係各所とともに鋭意検討を進めています。

》これからの日本の成長を牽引する国際交流拠点・品川

品川駅は、羽田空港の本格的な国際化や2027年に開業が予定されているリニア中央新幹線などの整備進展により、首都圏と世界、国内の各都市をつなぐ広域交通結節点としての役割が強まっています。

京急グループは、品川を最重要戦略拠点と位置付けており、これまで積極的に投資を行い、事業を展開してきました。

今後、京急グループが取り組む施策として、現在の複雑で分かりにくい駅配置の見直しや、品川第一踏切道を含む3か所の踏切解消等に取り組んでいきます。また、駅周辺に保有する京急グループの資産を有効活用してまちの活性化を図ります。



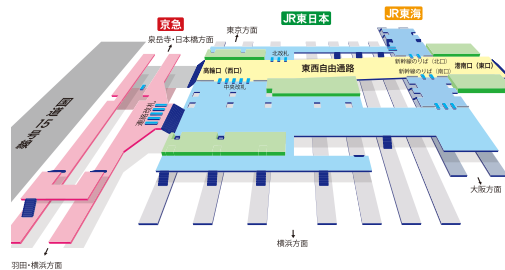
「品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン2014」から当社作成
赤枠が京急グループの取り組み

》品川駅のさらなる利便性向上を検討

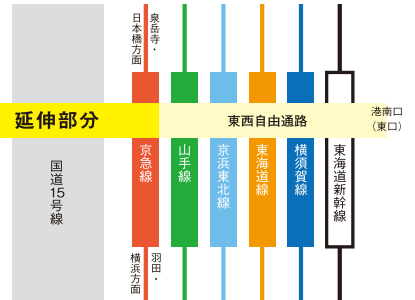
品川駅では、利用客の利便性向上を図るため、現在高架にある2面3線のホームをJR東日本のホームと同じレベルに配置するとともに、2面4線化による空港アクセスの向上等を検討しています。

また、品川駅を地平化することで、東西自由通路を西側に延伸し、国道15号線を超えて西口地区と繋ぐ、歩行者ネットワークを構築することが可能となります。

現在の品川駅の構造



品川駅の地平化(2面4線)後のイメージ





3

豊かで
住みやすい
沿線づくり

京急グループは、引き続き沿線価値のさらなる向上に努め、沿線の定住人口、交流人口の増大に向けた取り組みを推進してまいります。

» 鉄道高架下の活用
京急蒲田駅直結の商業施設を開業します

京急蒲田駅付近連続立体交差事業で創出された高架下スペースを活用し、地域の生活拠点となる新たな商業施設を2015年12月に開業する予定です。

改札から直結する中2階にはファッションや書籍を中心とした物販サービスゾーン、1階にはスーパーやスイーツ、ベーカ

リー等の食物販ゾーンと飲食ゾーンを設け、合計で約30店舗から構成される商業施設になる予定です。

女性やファミリーにも利用しやすい店舗を誘致することで、幅広い層のお客様を呼び込み、「住みたい」と思われる魅力的なまちづくりを進めていきます。



1階食物販ゾーンのイメージパース



1階通路(西口広場側)のイメージパース

※イメージパースは、実際の計画と異なる場合がございます。

» さらに便利な街へ
京急川崎駅に新たな駅ビルを建設

川崎市は、JR川崎駅で、東西を結ぶ新たな自由通路を整備する事業を着工しており、今後、京急川崎駅とJR川崎駅のアクセス向上が期待されています。京急グループでは、このような周辺のまちづくりの取り組みと連携し、新たな川崎エリアの玄関口として、京急川崎駅に改札直結の利便性を活かした駅ビルを建設しています。

新たな駅ビルは2016年春に開業予定で、低層階に商業施設と認可保育所を展開し、駅を利用される方に「便利でちょっといい暮らし」の提供を目指すほか、上層階はビジネスホテル「京急E Xイン 京急川崎駅前(仮称)」を展開し、ビジネス利用における利便性向上も目指します。地域の生活拠点となる施設を一体的に展開することで、駅としての利便性向上はもちろん、駅周辺のさらなる活性化も図っていきます。



駅ビル完成イメージパース



商業施設イメージパース

※イメージパースは、実際の計画と異なる場合がございます。

株主プレミアムイベント

観音崎京急ホテル

三浦半島リゾートの魅力体感ツアー

- ◆開催日時
2015年7月23日(木)
14時～16時
- ◆募集人員
15組30名様
- ◆応募締切
2015年7月10日(金)消印有効
- ◆当選者へのご案内
2015年7月15日(水)発送予定



鉄道の安全を支える

新町検車区見学ツアー

- ◆開催日時
2015年9月8日(火)
14時～16時
- ◆募集人員
15組30名様
- ◆応募締切
2015年8月21日(金)消印有効
- ◆当選者へのご案内
2015年8月27日(木)発送予定



イベント参加申し込み方法



けいきゅん®

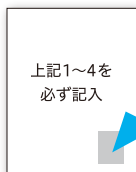
応募資格 2015年3月31日現在 株主の方 **応募方法** はがき・WEB

はがきで応募される方

本誌裏表紙の応募券を貼り、
以下の事項をすべてご記入のうえご応募ください。

- 1.参加希望コース名
- 2.株主様の氏名、年齢、郵便番号、住所、電話番号、株主番号
- 3.同伴者の氏名、年齢、株主様とのご関係
- 4.(同伴者が同居以外の場合のみ)
同伴者の郵便番号、住所、電話番号

はがき



応募券



本誌裏表紙に
あります

送付先

〒108-8625
京急電鉄
株主プレミアム
イベント事務局

WEBで応募される方

- 1.「京急電鉄IR」でWEB検索します。
- 2.京急電鉄ホームページの「IR情報」にアクセスします。
- 3.応募ページに進んでいただき、ログインパスワード「9006」を入力してご応募ください。

ご注意

- ・お申し込みは、お一人様につき一回限りです。
- ・同伴者は株主の方でなくても結構です。
- ・いずれのコースも現地集合・現地解散となります。
- ・参加費は無料ですが、現地までの往復交通費はご負担いただきます。
- ・諸般の事情から内容を変更または中止させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・応募多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。
なお、当選者の発表は当選はがきの発送をもって代えさせていただきます。
- ・ご応募に際していただいた情報は、本イベントに関して必要な範囲でのみ利用いたします。

会社情報

- 商号 京浜急行電鉄株式会社
(証券コード 9006)
Keikyu Corporation

- 本社所在地 〒108-8625
東京都港区高輪2丁目20番20号

- 設立 1898年2月25日
(前身の大師電気鉄道の設立)
1948年6月1日
(京浜急行電鉄の設立)

- グループ会社 64社 (当社を含む)

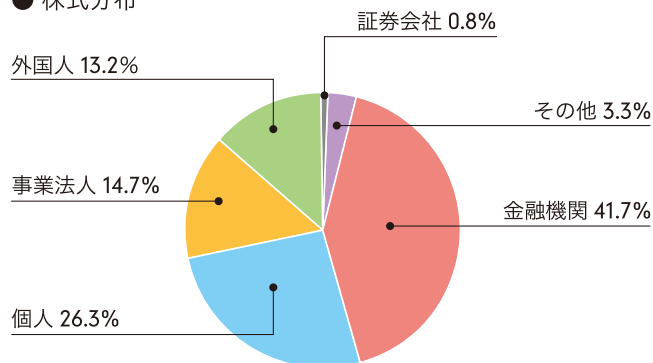
- 従業員数 8,885名 (うち当社1,485名)

役員 (2015年6月26日現在)

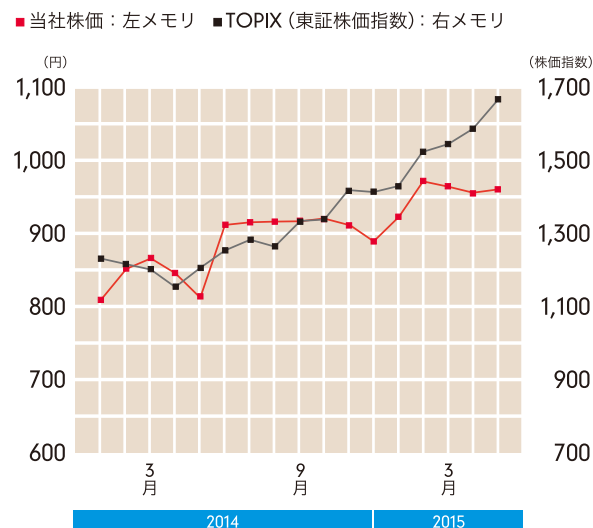
取締役会長 (代表取締役)	石渡 恒夫
取締役社長 (代表取締役)	原田 一之
専務取締役	田中 伸介
専務取締役	小倉 俊幸
常務取締役	道平 隆
取締役	武田 嘉和
取締役	佐々木 謙二
取締役	廣川 雄一郎
取締役	柴崎 昭嘉
取締役	本多 利明
取締役	平位 武了
取締役	上野 賢介
取締役	大賀 祥介
取締役	浦辺 和夫
取締役	渡辺 静義
常勤監査役	猿田 明里
常勤監査役	國生 伸夫
監査役	濱田 邦子
監査役	友永 道子

株式の情報

- 資本金 43,738,735,119円
- 株式数 551,521,094株 ※自己株式を含む
- 株主数 24,571名
- 株式分布



● 株価 (月終値) の推移



株主優待のご案内(年2回)

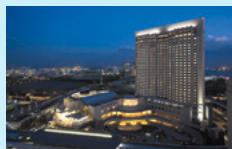
グループ施設株主優待券のほか、株式数に応じて優待乗車証等が選択できる株主優待制度を設けています。

1,000株以上ご所有のすべての株主様

■ 京急グループ施設株主優待割引券

(主な割引施設)

京急グループのホテル、京急百貨店、京急ストア、葉山マリーナ、ゴルフ場、羽田空港駅構内対象店舗ほか



3,000株以上30,000株未満ご所有の株主様

■ 5,000株以上ご所有の場合、電車・バス全線きっぷもしくは京急EXイン宿泊券のいずれか1つ選択

ご所有株式数	電車・バス全線きっぷ	京急EXイン無料宿泊券(シングル)
3,000～5,000株未満	6枚	—
5,000～10,000株未満	15枚	1枚
10,000～20,000株未満	30枚	2枚
20,000～30,000株未満	60枚	4枚

30,000株以上ご所有の株主様

■ いずれか1つ選択 + 電車・バス全線きっぷ15枚

さらに3年以上継続の場合

+ 電車・バス全線きっぷ15枚

ご所有株式数	電車全線パス	バス全線パス	電車・バス全線きっぷ	京急EXイン無料宿泊券(シングル)	ホテル グランバシフィック LE DAIBA 無料宿泊券(ツイン)
30,000～45,000株未満	1枚	—	90枚	6枚	2枚
45,000～60,000株未満	1枚	1枚	135枚	6枚	2枚
60,000株以上	電車・バス共通全線パス 1枚		180枚	6枚	2枚

※電車・バス全線きっぷは、当社電車全線および京急グループ(京浜急行バスグループ、川崎鶴見臨港バス)の一般路線バス全線にご乗車いただけます。
※株主優待の詳細は、当社ホームページをご覧ください。

株主
プレミアム
イベント
応募券
第94期
期末

■ 単元未満株式の買取・買増制度、特別口座に関するお問い合わせは

株主名簿管理人・特別口座管理機関
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号

〈営業時間〉平日 9:00～17:00

☎ 0120-782-031

■ 当社株主優待等に関するお問い合わせは



京急ご案内センター

〈営業時間〉平日 7:30～21:00
土・日・祝日 9:00～17:00

※営業時間は変更となる場合がございます。

ハローハロー
03-5789-8686

または 045-441-0999

※この冊子に掲載のイラスト・写真の無断転載を禁じます。



KEIKYU
京急電鉄